

3) OPTIM 介入研究開始の説明および参加依頼の際の聞き取り調査

OPTIM 地域介入開始前年度下半期から 2008 年度上半期にかけて、介入研究開始の説明会・研究の説明や協力・参加依頼を兼ねて病院訪問を開始した。OPTIM 地域介入研究の説明・ヒアリング・研究参加依頼・リンクスタッフ選出の依頼を行った。東京慈恵会医科大学附属柏病院と東葛病院を除く地域中核病院はがん患者のターミナルケアや緩和ケアに不安を抱いていた。

診療所は在宅支援診療所のリストを作り OPTIM 事務局が訪問した。同じようにヒアリング・説明・依頼を行った。診療所においては麻薬免許を所持していない医師も多く、患者の治療していた病院から処方してもらっているケースも多かった。もともと自分の患者だった方ががんの在宅療養が必要となったときには往診も検討しよう、という診療所がほとんどで、連携を図り積極的にがん患者を受け入れていこうという診療所は少なかった。理由として国立がんセンター東病院や東京慈恵会医科大学附属柏病院から診療所で紹介した患者のフィードバックや再紹介が得にくいこと、体力的に一人で在宅患者を抱えることが難しいなどがあげられた。

薬剤師会については各市町村の薬剤師会に訪問し、会員への案内と周知を依頼した。薬剤師会では麻薬・抗がん剤、ホルモン剤・訪問薬剤指導の可否・営業時間・取り扱い医療材料などのほしい情報リストがないことが判明し、今後の課題となった。

4) 行動計画の策定

先行研究および、介入研究開始について説明会での意見交換等で得られた課題を踏まえて、以下の行動計画を策定し、プロジェクトを遂行することとした。

緩和ケアの標準化と継続性の向上

- 地域共通マニュアル「ステップ緩和ケア」の公開
- リンクスタッフ勉強会（リンクスタッフ：各自の施設で緩和ケア技術を伝達する）

がん患者・家族・地域住民への情報提供

- 緩和ケアを知る 100 冊
- 市民公開講座
- リーフレット、ポスター、冊子、在宅ケアのDVD
- 地域メディアの活用
- 民生委員への緩和ケア啓発活動

地域の緩和ケアの包括的なコーディネーション

- 退院支援プログラムの実施
- 在宅緩和ケア症例検討会
- 院外型がん患者・家族相談支援センターの設置

専門的緩和ケアサービスの利用の促進

- 緩和ケア病棟の急性期化
- 地域緩和ケアチーム、FAX・メール相談、出張研修
- 職種別の勉強会

Ⅲ 介入プロセスの記述とその評価

1 緩和ケアの標準化

1) 緩和ケアに関する診療ツールの普及

(1) プロセスの記述

・ステップ緩和ケア

ステップ緩和ケアは、リンクスタッフ全員に配布した。リンクスタッフ勉強会でOPTIMのマテリアル（ステップ緩和ケア・リーフレット）を使用し、ロールプレイで使い方のトレーニングを行った。

・ステップ緩和ケアムービー

リンクスタッフ勉強会において参加者全員に配布。参加しなかった施設においては送付、次回参加の折りに配布。

・患者・家族パンフレット

リンクスタッフを通じて各施設に紹介。各施設から直接請求できるようにマニュアルを作成。希望により直接必要部数を送付。

リンクスタッフ勉強会で学習教材としても活用。

国立がんセンター東病院（特に薬剤師の抗がん剤治療患者支援）およびがん患者・家族総合支援センターで患者説明ツールとして活用。

・各種評価ツール

リンクスタッフを通じて各施設に紹介。各施設から直接請求できるようにマニュアルを作成。希望により直接必要部数を送付。

リンクスタッフ勉強会で学習教材としても活用。

国立がんセンター東病院（特に薬剤師の抗がん剤治療患者支援）およびがん患者・家族総合支援センターで患者説明ツールとして活用。

(2) 考察

事象	解釈	ノウハウ／解決策
ステップ緩和ケア・緩和ケア付録<2008年度、2009年度>		
まだ持っていない医師がいる（リンクスタッフ会議）	新しいツール類が病院全体に普及するまでには時間がかかる	持っていない医師に紹介する
痛みの経過シートが見づらい・書きづらい（リンクスタッフ会議）		現場で使いやすいように工夫が必要
拠点病院である東京慈恵会医科大学附属柏病院や国立がんセンター東病院でも、新しいツールを院内に設置するのに苦慮している（リンクスタッフ会議）	パンフレット・各種評価ツールは既存のパンフレットやツールが既に各施設で活用されており、新しいツール類に変更していくことが難しい	院内で既存のツールを使っていなかった部署、ツールのなかった訪問看護ステーション、また介入ができていない介護施設などへの配布を検討していく
リンクスタッフのみならず、各施設の医師・看護師に配布する施設が多い（リンクスタッフ会議） 小さな冊子の中に緩和ケア知識	緩和ケアに関する学習教材として有効性がある	勉強会での活用や各施設へのツールの配布など、現在の活動を継続していく

が要領よくまとめてあり、非常に有用（リンクスタッフ会議）		
------------------------------	--	--

2) 医療者対象のセミナー

(1) プロセスの記述

<2008年度>

医療者対象のセミナーとして、リンクスタッフ勉強会を行った。その他、看護協会による訪問看護師のホスピス研修や医師に対する緩和ケア教育プログラム（PEACE）の地域連携のセッションでOPTIMの活動の紹介、医師会・薬剤師会・介護支援専門員の会で講演を行った。

リンクスタッフ勉強会の開催状況、医師会・薬剤師会・介護支援専門員の会で講演の開催状況は下表参照。

<2009年度>

2008年同様に医療者対象のセミナーとして、リンクスタッフ勉強会を行った。また、地域介入実施者（リンクスタッフ）が主催して各所属施設で勉強会も開催された。

リンクスタッフ勉強会の開催状況、各地域介入実施者主催の勉強会・症例検討会開催状況は下表参照。

■ リンクスタッフ勉強会

目的： 各施設で緩和ケアを普及するためのキーパーソンの教育

対象： リンクスタッフ（自薦・他薦により抽出された各施設で緩和ケアを普及するためのキーパーソン）、リンクスタッフが自施設の緩和ケアに興味のある同僚を連れてきた場合は、リンクスタッフとなってもらい参加

目標： それぞれの施設で基本的な緩和ケア技術を普及・指導する

2008年度 がん性疼痛と治療の理解・麻薬の種類と使い方を理解する

2009年度 がん性疼痛について講師になれる、講義を開催できる

がん性疼痛以外の緩和ケアを理解する

2010年度 緩和ケアを理解し、講義を開催できる

内容： 講義 60分、質疑・実習 30分

表2 リンクスタッフ勉強会の開催状況（2008年度）

日時	テーマ	参加人数 総数（職種別）
6月19日	第1回 「疼痛総論—WHO方式がん性疼痛治療法」	67 (医8、看26、薬23、SW5、他5)
8月21日	第2回 「医療用麻薬の使い方と副作用」	60 (医8、看22、薬23、SW3、他4)
10月16日	第3回 「鎮痛薬の投与経路とレスキュー、鎮痛補助薬」	68 (医12、看23、薬25、SW4、他4)
12月18日	第4回 「前回までの復習と症例検討」	62 (医10、看24、薬18、SW3、他7)
2月19日	第5回 「がん性疼痛の復習、緩和ケア普及に向けた来年度の取り組み」	44 (医6、看21、薬8、SW3、他6)

内容： 講義 60分、質疑・実習 30分

表3 リンクスタッフ勉強会の開催状況（2009年度）

日時	テーマ	参加人数 総数（職種別）
6月25日 18:30-20:00	第1回 「呼吸困難」	59 (医8、看32、薬7、SW4、他8)
8月20日 19:00-20:30	第2回 「せん妄」	66 (医9、看28、薬18、SW3、他8)
10月15日 19:00-20:30	第3回 「死が近づいた時のケア」	57 (医10、看28、薬10、SW3、他6)
12月17日 19:00-20:30	第4回 「悪い知らせの伝え方」	57 (医11、看20、薬14、SW3、他9)
2月18日 19:00-20:30	第5回 「がん性疼痛と治療の理解」	45 (医7、看21、薬6、SW3、他8)

内容： 講義 60分、質疑・実習 30分

表4 リンクスタッフ主催の施設内勉強会 <東京慈恵会医科大学附属柏病院>（2009年度）

日時	テーマ	参加
5月8日（金）	医師・看護師・コメディカルの為の実践緩和ケア講座 (患者にどう向き合ったら良いかというテーマで、めぐみクリニックの小澤医師が講演)	149名
6月2日（火）	乳がんの診断と治療	20名
7月11～12日	緩和ケア基礎研修会（PEACE）（院外からも医師参加） 「がん性疼痛等の身体症状および精神症状に対する緩和ケア・コミュニケーション」	34名
8月5日（水）	痛みについて	30名

表5 リンクスタッフ主催の施設内勉強会<名戸ヶ谷病院>（2009年度）

日時	テーマ	参加
7月13日（月） 17:15-18:00	OPTIM緩和ケアについて OPTIM活動報告：国立がんセンター東病院 木下医師による緩和ケア介入 症例発表（地域緩和ケアチームの利用、経過についてレポート）	37名
7月30日（木） 13:00-14:00	緩和ケア「せん妄、疼痛」症例発表 （パート職員用に参加しやすい日時で、内容を噛み砕き実施）	34名
10月5日（月）	症例検討会報告 「地域医療について」 （OPTIMの勉強会で学んだことを看護集会で伝達講習）	28名

表6 リンクスタッフ主催の施設内勉強会<東葛病院> (2009年度)

日時	テーマ	参加
6月2日(火)	基本原則に沿った疼痛緩和1 看護系雑誌「エキスパートナース」を利用し、実際の事例を交えながら実施。	6名
6月9日(火)	基本原則に沿った疼痛緩和1	6名
6月16日(火)	基本原則に沿った疼痛緩和2	9名
6月23日(火)	基本原則に沿った疼痛緩和2	8名
6月30日(火)	基本原則に沿った疼痛緩和3	13名
7月1日(水)	基本原則に沿った疼痛緩和3	8名
7月7日(火)	鎮痛剤で起こりやすい主な副作用と対策 便秘	10名
7月14日(火)	鎮痛剤で起こりやすい主な副作用と対策 便秘	8名
7月21日(火)	鎮痛剤で起こりやすい主な副作用と対策 嘔気 嘔吐	3名
7月28日(火)	鎮痛剤で起こりやすい主な副作用と対策 嘔気 嘔吐	5名
8月4日(火)	鎮痛剤で起こりやすい主な副作用と対策 眠気・呼吸抑制	16名
8月11日(火)	鎮痛剤で起こりやすい主な副作用と対策 眠気・呼吸抑制	7名
8月18日(火)	鎮痛剤で起こりやすい主な副作用と対策 精神症状	3名
8月25日(火)	鎮痛剤で起こりやすい主な副作用と対策 精神状況	6名
9月1日(火)	詳細不詳	5名

(2) 考察

事象	解釈	ノウハウ/解決策
リンクスタッフ会議<2009年度>		
リンクスタッフは、各施設で勉強会を開催することを目標にしており、数施設では実施された(リンクスタッフ会議) 今後勉強会を計画している施設もある(リンクスタッフ会議) 教材にステップ緩和ケアを使用している施設もあれば、看護系雑誌を利用する施設もある(リンクスタッフ会議)	各施設独自の方法で勉強会が開催されている	6月より、東京慈恵会医科大学附属柏病院内の在宅支援室が院内の看護師を対象にした在宅調整事例検討会を行った(よくやりとりをしているステーションに参加してもらい、病棟から挙げられた1事例について行う。ミニレクチャーも盛り込んでいる) 各施設で勉強会を開催できるよう支援していく必要がある
職員の入れ替わりが激しくスタッフが育ちにくい	新たにリンクスタッフに加盟した参加者と、昨年度か	2009年度のリンクスタッフ勉強会は、疼痛以外の症状に関する緩和ケア

(OPTIM 柏メンバーの見解) 興味のない医師がおり、指導が難しい。(リンクスタッフ会議)	らの参加者のどちらに対しても必要な勉強会の開催が必要である リンクスタッフのニーズに合った勉強会を開催していく必要がある	をテーマに実施した 第5回は、昨年度からの参加者に対して復習の意味も込めて「疼痛」をテーマにした 年間を通してアンケートを実施し、勉強会の評価をする
ほとんどの人がDVDを一度も観たことがなく、一人ではなかなか見る機会がない(リンクスタッフ会議)	DVD「ステップ緩和ケアムービー」の利用も進めていく	昨年度同様にステップ緩和ケアをテキストにし、DVDによる解説も盛り込むようにした。

2 がん患者・家族・地域住民への情報提供

1) リーフレット・冊子・ポスターの配布・掲示

(1) プロセスの記述

<2008年度>

リーフレット・冊子・ポスターの設置場所・配布状況は下表参照。

表7 リーフレット・冊子・ポスターの設置場所・配布状況(2008年度)

種別	施設	設置場所	配布状況
リーフレット	東京慈恵会附属柏病院	各外来・病棟 27 箇所	各 15 部
リーフレット	国立がんセンター東病院	各病棟・外来、患者・家族支援相談室	
リーフレット	がん患者・家族総合支援センター	ロビー、各相談室	
リーフレット	平和台病院	外来受付、内科窓口	約 200 部
冊子	東京慈恵会附属柏病院	各外来・病棟・相談室に設置、必要時相談室に請求	
冊子	国立がんセンター東病院	患者・家族支援相談室、緩和医療科外来	
冊子	がん患者・家族総合支援センター		
冊子	柏市	(常設) 柏市保健所、地域包括支援センター、高齢者支援課窓口 (適宜) イベント参加時に配布	
冊子	平和台病院	外来受付(総合窓口)	約 340 部
ポスター	東京慈恵会附属柏病院	各外来・病棟 27 箇所	
ポスター	国立がんセンター東病院	外来待合やロビーなど全 7 か所	
ポスター	がん患者・家族総合支援センター	カウンター(内向き)、ガラス壁(外向き)	内 4 種、外 2 種
ポスター	柏市	柏市保健所、地域包括支援センター	1 部、3 部
ポスター	平和台病院	外来受付(総合窓口)、在宅センター入口	2 部ずつ

表8 リーフレット・冊子・ポスターの設置場所・配布状況（2009年度）

種別	施設	設置場所	配布状況
リーフレット	東京慈恵会附属柏病院	各外来・病棟 27 か所 ・がんに関するファイルを作成し各部署へ配布、緩和ケアチームのラウンドの際に使用したり、勧めている。	各 5 部 約 100 部
リーフレット	国立がんセンター東病院	各病棟・外来、患者・家族支援相談室	
リーフレット	がん患者・家族総合支援センター	ロビー、各相談室	
リーフレット	平和台病院	病院の総合受付	約 50 部 (開始時から は約 200 部)
リーフレット	名戸ヶ谷病院	2F デイルーム ・緩和ケアを知る 100 冊と一緒に設置。	30 部
リーフレット	東葛病院	各病棟、併設の在宅支援診療所	約 80 部
冊子	東京慈恵会附属柏病院	各外来・病棟 27 か所に設置 がんに関するファイルを作成し各部署へ配布、緩和ケアチームのラウンドの際に使用したり、勧めている。見えやすい場所に設置。相談を受けた際に勧めた。	各 5 部 約 100 部
冊子	国立がんセンター東病院	患者・家族支援相談室、緩和医療科外来	
冊子	がん患者・家族総合支援センター	カウンターの見えやすい場所に設置。 相談者や見学者に説明を加えつつ渡した。	
冊子	柏市		
冊子	平和台病院	・総合受付に設置。 ・各資料をひとまとめにし、専用の本棚を購入してもらって、緩和ケアを知る 100 冊と一緒に設置。 ・他のパンフレットと一緒に目立つ場所に設置	111 部 (開始時から は約 450 部)
冊子	名戸ヶ谷病院	2F デイルーム ・緩和ケアを知る 100 冊と一緒に設置。	30 部
冊子	東葛病院	各病棟、医療相談室、外来待合、併設の在宅支援診療所	約 80 部
ポスター	東京慈恵会附属柏病院	院内玄関掲示板、がん相談支援センター掲示板、化学療法室がんコーナー掲示板。 院内でがんの患者さんの目のつきやすい場所へ設置	約 3 部
ポスター	国立がんセンター東病院	外来待合やロビーなど全 7 か所	
ポスター	がん患者・家族総合支援センター	カウンター（内向き）、ガラス壁（外向き）	内 4 種、 外 2 種
ポスター	平和台病院	病院掲示板に新版、在宅センター入口に従来版。	1 部ずつ
ポスター	名戸ヶ谷病院	デイルーム 5 か所、外来 3 か所、薬局前 1 か所。現在、昨年度のものを使用中。	約 10 部

		A4 サイズでラミネート加工して使用中	
ポスター	東葛病院	院内各階、外来待合、併設診療所	約5部
ポスター	その他の病院	外来、内科外来の待合室。外来ロビー。	各1部

【リーフレット・小冊子の設置の実際の様子】

- がん患者・家族総合支援センター<リーフレット設置>



<2009 年度>

・リーフレット「つらい時期を上手に過ごす」、冊子「あなたの地域の緩和ケア」

外来などに設置していてもあまり目立たないという意見があるが、関連資料を集めてコーナーを作っている施設ではそのコーナーに人が集まってきている。補充ができなかったり、設置スペースがなかったり、資料の管理が難しい様子である。がん患者・家族総合支援センターが出張して実施した患者や市民対象の講演会など、配布の機会がある時は必ずリーフレットと冊子をセットで配布するようにした。冊子をみての反応はまだみられない。

内容が重複しているので、2種を1つのものにまとめてはどうか、という意見もある。

・ポスター

2009 年度からはポスターの貼り替え時期に合わせて、リンクスタッフの所属する施設に該当ポスターを郵送し、掲示を依頼した。病院のロビーや外来の待合室に掲示している施設が多い。診療所や訪問看護ステーションなど施設によってはスペースの都合上、掲示が難しいということである。規模の小さい施設（診療所・訪問看護ステーション・包括支援センター等）は小さなサイズで十分であるという。また、介護施設などでは自施設で取り組んでいないことをポスターで掲示するには、勇気がいるという意見も出ている。

ポスターを見たという人から質問や相談を受けた者は特におらず、実際どれだけ患者や市民の目に触れているかは不明。

2) 映像メディアの視聴

(1) プロセスの記述

<2008 年度>

「我が家へ帰ろう」DVD・VHS の配布・放映状況は下表参照。

表9 「我が家へ帰ろう」DVD・VHS の配布・放映状況 (2008 年度)

種別	施設	配布・放映状況
「我が家へ帰ろう」 DVD・VHS	東京慈恵会附属柏病院	病棟へ配布：15部 患者ベッドサイドの院内TVの院内説明のチャンネルで15時から朝まで時間毎に放映
「我が家へ帰ろう」 DVD・VHS	がん患者・家族総合支援センター	TVモニターの棚に設置、希望者に配布。

「我が家へ帰ろう」 DVD・VHS	がんセンター東病院	市民公開講座にて開始時間前と休憩時間に放映 希望者に配布
----------------------	-----------	---------------------------------

表 10 「我が家へ帰ろう」DVD・VHS の配布・放映状況（2009 年度）

施設	配布・放映状況
東京慈恵会附属柏病院	・化学療法室待合室の TV で使用 ・院内の患者用 TV で放映
がん患者・家族総合支援センター	・1周年イベントの際、開催までの待ち時間に放映。 TV モニターの棚に設置、希望者に配布。 ホスピスケアを広める会の見学会で利用。
国立がんセンター東病院	市民公開講座で希望者に配布。
東葛病院	併設の在宅支援診療所と法人内訪問看護ステーション、看護部図書室に約5部

(2) 考察

事象	解釈	ノウハウ/解決策
映像メディアの利用		
<p>病院の若い医師が参考になる。WEBで見られるのが便利（リンクスタッフ会議）</p> <p>2008年度同様、DVDを配布するタイミングが難しいことや、放映する機会がないため、多くの施設であまり利用は進んでいない（リンクスタッフ会議）</p>	<p>映像として見ることで、イメージが付きやすいと考えられることから、医療者だけでなく、介護職への学習教材としても利用できると考える</p> <p>WEBなどの手軽な方法での利用が好まれる</p>	<p>ケアマネ連絡会で利用するヘルパー向けの講習でも活用できる</p> <p>講義用としてスライド化する</p>
<p>内容が理想的で実際に即していない（リンクスタッフ会議）</p> <p>映像の中の医師のように、何でも話しやすく詳しく理解できる言葉で説明してくれる医師が少ない（リンクスタッフ会議）</p> <p>在宅療養を阻害する因子は個人的なものが多くそれぞれ個別の対応を必要とするため、今援助を必要としている人の助けにはならない（リンクスタッフ会議）</p>	<p>患者・家族の状況は個別性があるため、活用しにくい場面もあるが、一般市民で未病の状態在宅療養への漠然とした不安や疑問を抱えている人への啓発ツールとしては活用できると考える</p> <p>在宅療養に対する一つのイメージとして医療従事者がの学習教材としても活用できると考える</p>	<p>一般市民向けのイベントや講座、あるいは医療従事者への教材としての利用に重点を置く</p>

3) 図書（緩和ケアを知る 100 冊）の設置

(1) プロセスの記述

<2008 年度>

緩和ケアを知る 100 冊の設置・貸出状況は下表参照。緩和ケアを知る 100 冊の利用状況についての詳細は、「緩和ケアを知る 100 冊」利用回数調査票参照。

また、柏市立図書館・柏市立保健所主催で「緩和ケアを知る 100 冊を学ぼう」と題した一般市民対象の講演会を開催した（詳細は講演会の項を参照）

表 11 緩和ケアを知る 100 冊の設置・貸出状況（2008 年度）

種別	設置施設	貸出回数
医療施設	国立がんセンター東病院	
医療施設	東京慈恵会医科大学附属柏病院	
医療施設	がん患者・家族総合支援センター	
医療施設	平和台病院	
医療施設	名戸ヶ谷病院	
医療施設	東葛病院	
医療施設	市立柏病院	
医療施設	岡田病院	
医療施設	千葉・柏たなか病院	
図書館	柏市立図書館	
図書館	流山市立中央図書館	計 440 回
図書館	流山市立北部地域図書館	計 286 回
図書館	我孫子市民図書館	計 272 回

表 12 緩和ケアを知る 100 冊の設置・貸出状況（2009 年度）

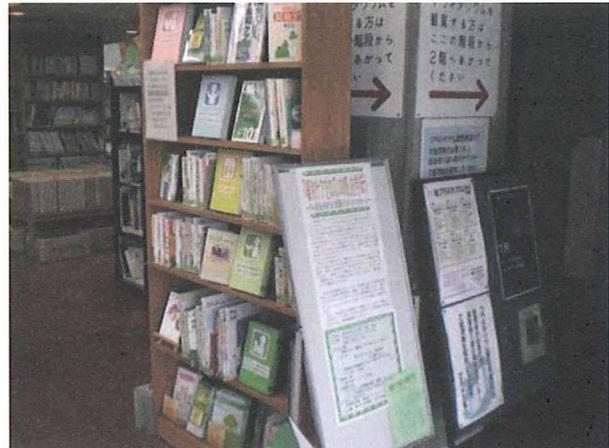
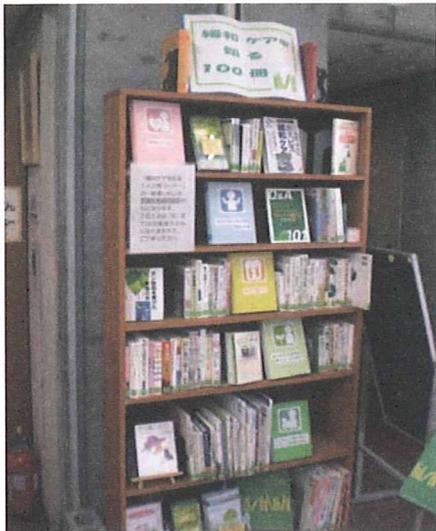
種別	設置施設	設置・貸出状況、回数
医療施設	国立がんセンター東病院	2 階相談室前のがん関連情報コーナーに設置。
医療施設	東京慈恵会附属柏病院	本を置くスペースが確保できていない。患者図書館ができれば活用できる可能性がある。
医療施設	がん患者・家族総合支援センター	テーマ別に分けて 100 冊を並べた。また、絵本の 1 冊を開いて展示して 100 冊が目立つようにした。貸出をしていないため、閲覧のみ。見学者などには 100 冊のリストを手渡して図書館の利用を呼び掛けた。
医療施設	平和台病院	在宅センター内の棚に保管。院内職員へのアナウンス。一部の職員と患者・家族に貸出。
医療施設	名戸ヶ谷病院	2F デイルームに設置し、貸出ノートの記入。あまりアピールできていないのか、利用者記入が少ない。
医療施設	東葛病院	院内職員図書室に保管。ほとんど活用されておらず。患者向けにがん研究振興財団の患者用パンフとともに 100 冊の一覧表をおく予定。
医療施設	市立柏病院	貸出の意見が分かれている。院内職員用図書室、外来化学療法室に保管。利用状況不明。
医療施設	岡田病院	外科外来待合室に、設置。
医療施設	柏たなか病院	婦人科外来側（新棟）に設置。待合室の手の届くところにあること、まわりが他の患者からみえにくい、など工夫。

		確認はできていないが、利用者はいるよう。
図書館	柏市立図書館	計 238 回 (2009 年 4 月～9 月 2 日)
図書館	流山市立中央図書館	計 138 回 (2009 年 4 月～8 月 31 日)
図書館	流山市立北部地域図書館	計 172 回 (2009 年 4 月～8 月 31 日)
図書館	我孫子市民図書館	計 226 回 (2009 年 4 月～9 月 2 日)

【「緩和ケアを知る 100 冊」設置の実際の様子】

柏市・柏市立図書館・流山市立森の図書には、「緩和ケアを知る 100 冊」を寄贈した。

- 柏市立図書館



(2) 考察

事象	解釈	ノウハウ／解決策
図書の設置<2009 年度>		
設置スペースや利用方法についての方針が決まらずに、どの施設も利用はあまり進んでいない (OPTIM 柏メンバー見解) 2008 年度末に希望の病院に緩和ケアを知る 100 冊を 1 セット寄贈したが、外来に置くと紛失するのではないかと懸念している (OPTIM 柏メンバー見解)	各施設で設置場所や利用方法を工夫しており、施設の利用者に合わせた方法を検討していく必要がある	各施設の工夫について、他施設と情報交換をしながら設置方法について検討していく 実際に外来に設置している施設によると紛失していないということであり、その情報を各施設に伝えていく

4) 講演会の開催 (2008 年～2009 年)

(1) プロセスの記述

一般市民対象の講演会の開催状況は下表参照。

がん患者・家族総合支援センターでは、各活動団体が患者・家族などを対象に講演会を開催。

東京慈恵会医科大学附属柏病院では、隔月で開催を始めた患者交流会の中にミニレクチャーを盛り込むようにした。

表 13 一般市民対象の講演会の開催状況（2008年度）

日時	テーマ	主催	対象	参加数
10月5日	地域医療連携フォーラム・市民公開講座「緩和ケアと宗教」	東京慈恵会医科大学附属柏病院	一般市民	
7月14日	「緩和ケアを知る100冊」を学ぼう	柏市立図書館、 柏市保健所	一般市民	110
9月26日	緩和ケアに関して	柏市新富地区 社会福祉協議会、 柏市図書館	地区民児協、 社協、福祉団 体の関係者	50
9月28日	がん緩和ケアについて	柏市南部地区 社会福祉協議会	地域住民	50
11月1日	柏の葉「がん患者・家族総合支援センター」のできるごと（ホスピスケアを広める会 公開講演会 がん難民をつくらないための未来図	NPO法人 ホスピ スケアを広める 会	一般市民	80
11月15日	がん患者・家族総合支援センターの紹介 （第3回市民公開講座 がんになっても安心して暮らせるまちづくり）	国立がんセンタ ー東病院	一般市民	130
11月22日	第2回森の学校「緩和ケアを知る100冊」を学ぼう	流山市立北部図 書館	一般市民	34
1月18日	緩和ケアに関して/支援センター紹介	柏新生会 （オトメトの会）	オトメト会員	33
1月31日	第2回市民公開講座“大切な存在と思えるために”～命と向き合って～	東京慈恵会医科大学附属柏病院	一般市民	90
3月7日	心の痛みを和らげる～がん患者の経験から	柏市立図書館	一般市民	200

表 14 一般市民対象の講演会の開催状況（2009年度）

日時	テーマ	主催	対象	参加数
4月20日（月） 13:30-15:00	アロマトリートメント講習会	東葛・生と死を考 える会	がん患者・家 族、サポーター	15名
4月24日（金） 13:30-15:30	OPTIM・緩和ケアについてとがん患者・ 家族総合支援センターの紹介	生涯医療ネット ワーク（柏市市民 団体）	一般市民	30名
5月11日（月） 10:30-12:00	OPTIM・緩和ケアについてとがん患者・ 家族総合支援センターの紹介	柏市消費者の会	消費者の会・会 員	15名
5月14日（木）	がん患者さんとその家族のためのスト レス対処法	東京慈恵会医科大学附属柏病院	通院・入院患者	27名
5月23日（土）	健康づくり教室 がんを知る 2009「緩	千葉県	一般市民	50名

厚生労働科学研究費補助金 第3次対がん総合戦略研究事業
 緩和ケアプログラムによる地域介入研究
 Outreach Palliative care Trial of Integrated regional Model
 OPTIM Study

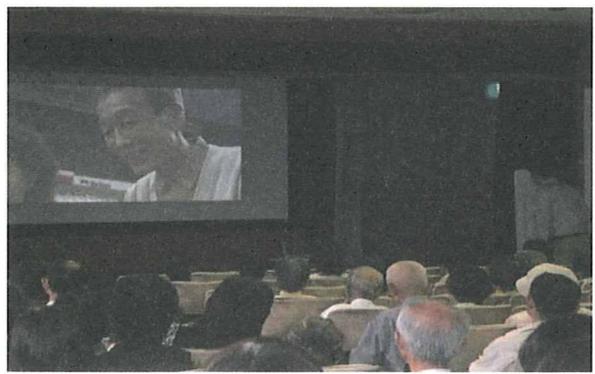
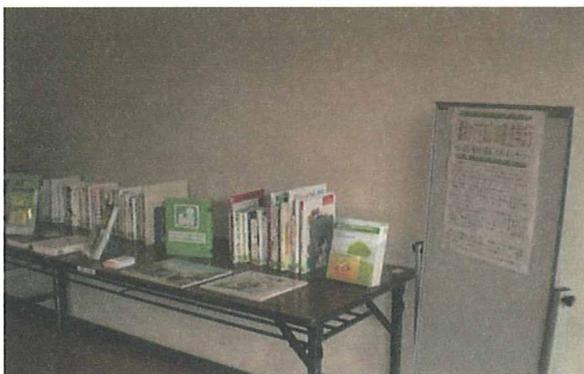
10:00-12:00	和ケア～患者さん・ご家族を地域で支えていくために～			
6月10日(水) 13:30-15:00	OPTIM・緩和ケアについてとがん患者・家族総合支援センターの紹介	麻の実会(我孫子市の患者会)	会員	19名
6月15日(月) 13:30-15:00	アロマトリートメント講習会	東葛・生と死を考える会	がん患者・家族、サポーター	15名
6月20日(土) 14:00-16:00	「苦しみの先にあるもの」	東葛・生と死を考える会	一般市民	40名
7月9日(木)	安心して治療に望めるために～社会資源の活用の仕方	東京慈恵会医科大学附属柏病院	通院・入院患者	13名
7月11日(土) 14:00-15:30	・がん患者・家族総合支援センターの視察と相談状況の把握 ・緩和ケア「在宅ケア」の理解	ホスピスケアを広める会	会員	13名
7月18日(土) 14:00-16:30	<市民公開講座> 怖がらないで生きようよ	東京慈恵会医科大学附属柏病院	一般市民	90名
7月30日(木) 10:30-12:30	「がん予防&健康的な食生活」	国立がんセンター東病院栄養管理室、がん患者家族総合支援センター	一般市民	25名
7月31日(金) 14:00-16:00	がん患者・家族総合支援センター1周年記念イベント・シンポジウム	がん患者・家族総合支援センター	医療福祉関係者、一般市民	41名
8月10日(月) 13:00-13:30	プロジェクトの紹介と、がん患者・家族支援センターの利用案内	西原近隣センター	柏市西原地域民生委員児童委員・健康づくり推進員交流会	40名
9月10日(木)	リンパ浮腫と上手に付き合おう	東京慈恵会医科大学附属柏病院	通院・入院患者	30名
9月26日(土) 14:00-16:00	「スピリチュアル・ケアを考える」	東葛・生と死を考える会	一般市民	40名
9月28日(月) 13:30-15:00	アロマトリートメント講習会	東葛・生と死を考える会	がん患者・家族、サポーター	15名
10月24日(土) 13:30-16:30	第4回市民公開講座 1. 適切な情報につながるために～情報収集の知恵と工夫～ 静岡がんセンターMSW 福地智巴先生 2. がん患者家族のこころ 埼玉医科大学国際医療センター 大西秀樹先生	国立がんセンター東病院	一般市民	131名

厚生労働科学研究費補助金 第3次対がん総合戦略研究事業
 緩和ケアプログラムによる地域介入研究
 Outreach Palliative care Trial of Integrated regional Model
 OPTIM Study

	3. がん患者・家族総合支援センターの紹介			
10月31日(土) 9:30-12:30	湖北台健康祭り 1. がん・緩和ケアに関する情報提供と相談 2. がん患者・家族総合支援センター紹介	我孫子市・湖北台地区社会福祉協議会	一般市民	200名
11月28日(土) 14:00-16:00	講演会 「がん患者の生活を支える緩和ケア」	ジャパン・ウエルネス	一般市民	30名
12月10日(木) 11:30-13:30	健康料理教室 「がん予防と食生活」	国立がんセンター東病院栄養管理室、がん患者家族総合支援センター	一般市民	
2月15日(月) 13:30-15:00	アロマトリートメント講習会	東葛・生と死を考える会	がん患者・家族、サポーター	10名
3月18日(木) 11:30-13:30	健康料理教室 「がん予防と食生活」	国立がんセンター東病院影響管理室、がん患者・家族総合支援センター	一般市民	

【講演会の実際の様子】

- 緩和ケアを知る 100冊を学ぼう (2008年度)



(2) 考察

事象	解釈	ノウハウ/解決策
講演会の開催<2008年度>		
<p>40名程度の規模の会場で開催することが多かったため、活発な意見交換ができた(主催者意見)</p> <p>がん患者・家族総合支援センターの利用者に、講演会に参加した方が増えた(相談記録の分析)</p> <p>柏市・柏市立図書館・流山市立森の図書館では「緩和ケアを知る100冊」のコーナーや図書館の特集・イベント、講演会を企画し、医師による講演で広く情報を提供する機会を得た</p>	<p>参加者が少人数であったため、演者や主催者とのコミュニケーションがとりやすかったと考える</p> <p>がん患者・家族総合支援センターを会場とすることで、地域の中の身近な支援施設として親近感を持ってもらえれば、さらに地域に根づくことができる</p>	<p>引き続き、支援センターでは患者サポートプログラム運営団体が緩和ケアを啓発する目的の講演会を企画・開催していく</p>
講演会の開催<2009年度>		
<p>がん患者・家族総合支援センターで活動している団体が主催する講演会の開催が昨年度に比べ増加した。(OPTIM 柏メンバー見解)</p> <p>柏市内での開催がほとんど(OPTIM 柏メンバー見解)</p>	<p>昨年度に比べると、OPTIM や支援センターについてやや周知されてきた</p> <p>柏市保健所の協力により、今年度も地区の民生委員や住民対象に緩和ケアやがん患者・家族総合支援センターの紹介をする機会が得られた</p>	<p>流山市・我孫子市の各方面に協力要請をして市民啓発に取り組む必要がある。</p>

5) 地域メディアの活用

(1) プロセスの記述

<2007・2008年度>

地域メディアの活用状況は下表参照。

表 15 地域メディアの活用状況 (2007・2008・2009年度)

日付	媒体種別	媒体名	内容
2008年1月11日	新聞	千葉日報	OPTIM の地域介入の紹介
2008年1月30日	新聞	読売新聞	OPTIM の地域介入の紹介
2008年1月30日	新聞	千葉日報	OPTIM の地域介入の紹介
2008年2月1日	広報誌	広報かしわ	OPTIM の地域介入の紹介
2008年2月4日	HP	流山市 HP	OPTIM の地域介入の紹介
2008年2月8日	新聞	柏市民新聞	OPTIM の地域介入の紹介
2008年2月10日	新聞	東京新聞	OPTIM の地域介入の紹介
2008年2月15日	広報誌	広報ながれやま	OPTIM の地域介入の紹介

厚生労働科学研究費補助金 第3次対がん総合戦略研究事業
 緩和ケアプログラムによる地域介入研究
 Outreach Palliative care Trial of Integrated regional Model
 OPTIM Study

2008年3月1日	広報誌	広報あびこ	OPTIMの地域介入開始の案内
2008年3月1日	広報誌	広報ながれやま	がんセンター東病院の患者・家族支援相談室の案内
2008年3月11日	新聞	毎日新聞(朝刊)	OPTIMの地域介入の紹介
2008年3月27日	テレビ	NHK 首都圏ニュース	OPTIMの地域介入の紹介
2008年3月28日	ミニコミ誌	イースト情報	OPTIMの地域介入の紹介
2008年4月2日	新聞	朝日新聞(朝刊)	OPTIMの地域介入の紹介
2008年5月16日	医療産業誌	薬事日報	OPTIMの地域介入の紹介
2008年6月1日	冊子	柏市 暮らしの便利帳	柏市がん対策プロジェクト2008の紹介
2008年7月1日	広報誌	広報かしわ	柏市立図書館の「緩和ケアを知る100冊コーナー」の紹介
2008年7月2日	新聞	読売新聞(朝刊)	柏市立図書館の「緩和ケアを知る100冊コーナー」の紹介
2008年7月3日	新聞	朝日新聞(朝刊)	柏市立図書館の「緩和ケアを知る100冊コーナー」の紹介
2008年7月6日	新聞	毎日新聞(朝刊)	柏市立図書館の「緩和ケアを知る100冊コーナー」の紹介
2008年7月22日	新聞	朝日新聞(朝刊)	柏市立図書館の「緩和ケアを知る100冊コーナー」の紹介
2008年7月23日	新聞	千葉日報	柏市立図書館の「緩和ケアを知る100冊コーナー」の紹介
2008年7月28日	記者会見	柏市役所	
2008年7月29日	新聞	読売新聞(朝刊)	がん患者・家族総合支援センターの紹介
2008年7月29日	新聞	千葉日報	がん患者・家族総合支援センターの紹介
2008年7月29日	新聞	東京新聞	がん患者・家族総合支援センターの紹介
2008年7月29日	新聞	朝日新聞(朝刊)	がん患者・家族総合支援センターの紹介
2008年8月13日	ミニコミ誌	東葛まいにち	がん患者・家族総合支援センターの紹介
2008年8月23日	新聞	読売新聞(朝刊)	がん患者・家族総合支援センターの紹介
2008年8月30日	テレビ	BS朝日 鳥越俊太郎 医療の現場!	緩和ケア病棟の紹介
2008年8月30日	テレビ	NHK おはよう日本	がん患者・家族総合支援センターの開所式(5分程度)
2008年9月10日	ミニコミ誌	東葛まいにち	がん患者・家族総合支援センターの紹介、OPTIMの紹介、栄養相談の案内
2008年9月	レター	国立がんセンターニュース	がん患者・家族総合支援センターの紹介
2008年10月	雑誌	JMS	がん患者・家族総合支援センターの紹介
2008年10月23日	新聞	千葉日報	市長挨拶のなかで、がん患者・家族総合支援センターの紹介
2008年11月20日	ミニコミ誌	朝日れすか	がん患者・家族総合支援センターの紹介
2008年12月15日	広報誌	広報かしわ	がん患者・家族総合支援センターのオープン案内
2008年12月15日	ポスター掲示	国際学術都市づくり展	がん患者・家族総合支援センターの紹介
2009年1月9日	新聞	読売新聞(夕刊)	がん哲学外来の案内
2009年1月9日	新聞	柏市民新聞(夕刊)	がん患者・家族総合支援センターの紹介
2009年2月	レター	流山市東部地域包括支援センター通信	がん患者・家族総合支援センターの紹介
2009年3月26日	新聞	朝日新聞	OPTIMの広告
2009年5月20日	新聞	毎日新聞	がん患者・家族総合支援センターの紹介
2009年7月号	看護雑誌	臨床看護第35巻8号	記事『Report「がん患者・家族総合支援センター」開設から1年』

厚生労働科学研究費補助金 第3次対がん総合戦略研究事業
 緩和ケアプログラムによる地域介入研究
 Outreach Palliative care Trial of Integrated regional Model
 OPTIM Study

2009年7月16日	広報誌	広報あびこ	がん患者・家族総合支援センター（がん予防の食生活）紹介
2009年7月15日	広報誌	広報ながれやま	がん患者・家族総合支援センター（がん予防の食生活）紹介
2009年7月15日	広報誌	広報かしわ	がん患者・家族総合支援センター（がん予防の食生活）紹介
2009年7月30日	新聞	読売新聞（朝刊）	がん患者・家族総合支援センターの紹介記事
2009年8月12日	ミニコミ誌	東葛まいにち	がん患者・家族総合支援センターの紹介記事
2009年8月14日	新聞	柏市民新聞	がん患者・家族総合支援センターの紹介記事
2009年9月7日	社内報	越井木材工業（株）	がん患者・家族総合支援センターの紹介記事
2009年10月1日	広報誌	広報かしわ	第4回市民公開講座「がんになっても安心して暮らせるまちづくり」紹介
2009年10月1日	広報誌	広報ながれやま	第4回市民公開講座「がんになっても安心して暮らせるまちづくり」紹介
2009年10月1日	広報誌	広報あびこ	第4回市民公開講座「がんになっても安心して暮らせるまちづくり」紹介
2009年10月1日	検診手帳	柏市検診手帳 流山市検診手帳 我孫子市検診手帳	近隣の相談支援センター一覧にがん患者・家族総合支援センターとがん患者・家族支援相談室・がん相談支援センター（東京慈恵会医科大学附属柏病院）を掲載
2009年10月2日	WEB	千葉県	千葉県健康福祉部健康福祉政策課政策室 県民向け医療関連口座への第4回市民公開講座「がんになっても安心して暮らせるまちづくり」紹介 http://www.pref.chiba.lg.jp/syozoku/c_kenfuku/iryo_jouho/iryokouza.html
2009年10月5日	WEB	柏タウン-イベント情報	第4回市民公開講座「がんになっても安心して暮らせるまちづくり」紹介 http://www.kashiwa-town.com/
2009年10月31日	ポスター掲示	我孫子市湖北台地区社会福祉協議会	第11回湖北台「健康まつり」に参加し、出張相談とともにポスター掲示・冊子配布
2009年11月10日	雑誌	大塚薬報第650号	国立がんセンター東病院の特集記事の中でがん患者・家族総合支援センターを紹介
2009年11月15日	新聞	日経新聞（朝刊）	がん患者・家族総合支援センターの紹介
2009年11月27日	WEB	イベントログ	ヤフー・ニフティ・ビッグロブ・ライブドア等の主要WEBサイトの地域情報に情報発信例： http://local.yahoo.co.jp/detail/event/p10019558/
2009年12月1日	広報誌	広報かしわ	がん患者・家族総合支援センター（がん予防と食生活）紹介
2009年12月1日	広報誌	広報あびこ	がん患者・家族総合支援センター（がん予防と食生活）紹介
2010年1月15日	広報誌	広報かしわ	がん患者・家族総合支援センター紹介
2010年1月29日	新聞	地域新聞（柏中央版）	がん患者・家族総合支援センター紹介
2010年1月29日	新聞	地域新聞（柏西版）	がん患者・家族総合支援センター紹介
2010年1月29日	新聞	地域新聞（柏北版）	がん患者・家族総合支援センター紹介
2010年1月29日	新聞	地域新聞（柏南版）	がん患者・家族総合支援センター紹介
2010年1月29日	新聞	地域新聞（流山版）	がん患者・家族総合支援センター紹介
2010年1月29日	新聞	地域新聞（我孫子版）	がん患者・家族総合支援センター紹介
2010年1月29日	新聞	地域新聞（流山版）	がん患者・家族総合支援センター紹介

厚生労働科学研究費補助金 第3次対がん総合戦略研究事業
 緩和ケアプログラムによる地域介入研究
 Outreach Palliative care Trial of Integrated regional Model
 OPTIM Study

		北版)	
2010年2月1日	WEB	イベントログ	ヤフー・ニフティ・ビッグロブ・ライブドア等の主要WEBサイトの地域情報に情報発信 がん患者・家族総合支援センター(アロマトリートメント講習)紹介
2010年2月1日	ポスター掲示	UDCK	「つくばエクスプレス沿線地域(柏・流山地域)におけるまちづくりプロジェクト展」千葉県が中心となりまちづくりプロジェクトをパネル展示により紹介
2010年2月1日	広報誌	広報あびこ	がん患者・家族総合支援センター(グリーンケア)紹介
2010年2月15日	広報誌	広報ながれやま	がん患者・家族総合支援センター(グリーンケア)紹介
2010年2月15日	広報誌	広報かしわ	グリーンケア講座紹介(柏市とがん患者・家族総合支援センター共催)
2010年3月15日	広報誌	広報かしわ	がん患者・家族総合支援センター(がん予防と食生活)紹介
2010年3月16日	広報誌	広報あびこ	がん患者・家族総合支援センター(がん予防と食生活)紹介

(2) 考察

事象	解釈	ノウハウ/解決策
地域メディアの活用<2008年度>		
OPTIM地域介入開始に伴い、記者クラブへの情報提供や柏市の協力で記者クラブでの記者発表を行うことができた (OPTIM 柏メンバー見解) 新聞各紙による報道が千葉県地域版を主に頻回になされた (OPTIM 柏メンバー見解) テレビにニュースや特集番組として取り上げられることもあった(OPTIM 柏メンバー見解)	全国に先駆け病院外に開所された相談センターであるがん患者・家族総合支援センターやOPTIM地域介入への関心と期待により市民への情報提供の必要ありと判断されたと考える。 市民公開講座の広報を契機としてミニコミ誌の情報を収集し、がん患者・家族総合支援センターやOPTIMの説明・パンフレットの送付など、記事掲載依頼の調整を行ったことで活動への理解を得ることができた	引き続き、地域メディアを活用し地域介入や支援センターについての情報を普及させていく ミニコミ誌との協力体制をつくっていく
地域メディアの活用<2009年度>		
OPTIM 地域介入やがん患者・家族総合支援センターの業務内容告知につき、記事掲載当日から数日は電話や来訪での相談・問い合わせが増加する(相談記録の分析) 記事の切り抜きを保存し、必要時に連絡先を確認する人も多い(相談記録の分析)	新聞・市の広報誌は市民への案内や告知の手段としては効果が期待できるメディアと考える 市報は各市町村によるが発行日前約1か月から2か月の締め切りがあり緊急告知メディアとしては活用できない。	

<p>ミニコミ誌*に掲載されると、その後数日間は支援センターへの相談件数が増加する（相談記録の分析）</p> <p>ミニコミ誌*は、講演やイベントの情報掲載は依頼から短時間で掲載できるが、無料での記事や案内が毎回掲載されるわけではない（OPTIM 柏メンバー見解）</p> <p>市報は、市による掲載優先により直前に掲載を却下される場合もある（OPTIM 柏メンバー見解）</p>	<p>市民が情報源として活用している</p> <p>ミニコミ誌などによるアピールが効果的である</p> <p>ミニコミ誌*に、無料で記事や案内を掲載してもらうためには、記事として採択される必要がある</p> <p>いくつかのメディアを同時に活用するほうが確実である</p>	<p>依頼文の体裁や市民へのメリットの記載内容を工夫した</p>
<p>インターネットの普及も進んでおり OPTIM のホームページまたはがんセンター東病院ホームページから情報を得て、イベントに参加またはがん患者・家族総合支援センターに来院される人も多くなってきた（相談記録の分析）</p>	<p>患者・家族自身またはその子供世代が情報収集の手段の一つとして活用している</p>	<p>柏地域では、がんセンター東病院ホームページ、OPTIM 柏地域ホームページ（がん患者・家族総合支援センターホームページを含む）、柏市タウン情報ページ、イベント発信サイトを利用し情報発信している</p>

*ミニコミ誌：無料であり、新聞に折り込み、または直接戸別配送されて市民に届けられる。発行部数も5万部程度から20万部まで幅があり柏地域では数社のミニコミ誌が発刊されている。

各種雑誌への記事掲載は主に発行者からの取材依頼が主であり読者は特定されることが多いが、その発行部数と読者数は膨大である。

6) その他のトライアル

①民生委員対象の講演会(2008～2009年)

<2008～2009年度>

「緩和ケア」及びがん患者・家族総合支援センターの市民への啓発を目的とした講演会を中心に開催した。介入開始時、民生委員・社会福祉協議会への挨拶をかねて協力を依頼したことにより、地域で開催される住民の集会・役員会などでOPTIMや緩和ケア、がん患者・家族総合支援センターを紹介する機会を与えられた。「緩和ケア」や「がん患者・家族総合支援センター」の認知度は低いが説明や質問に答えることで「そうした活動やセンターがあることは安心だ」という言葉を得る。

表 16 民生委員対象の講演会の開催状況 (2008年度)

日時	テーマ	主催	対象	参加人数
12月5日	緩和ケアに関して/支援センター紹介	柏市富里地区 社会福祉協議会	民生委員	25名
1月14日	緩和ケアに関して/支援センター紹介	柏市豊四季台地区 社会福祉協議会	民生委員	18名

柏市保健所の協力も得て、地域に出張参加。

新田原地区は、民生委員の会長（兼、消費者の会の会長）より出張依頼があり実施。

表 17 民生委員・健康づくり推進員対象の講演会の開催状況（2009年度）

日時	テーマ	主催	対象	参加人数
8月10日(月) 13:10-13:30	緩和ケアに関して/支援センター紹介	柏市西原地区 民生委員児童委員・健康づくり推進員交流会	民生委員、健康づくり推進員	40名
10月6日(月) 10:30-12:00	緩和ケアに関して/支援センター紹介	柏市新田原地区 民生委員児童委員	民生委員	16名
10月14日(水) 14:00-15:00 (「市民対象の講演会」でも報告)	緩和ケアに関して/支援センター紹介	柏市富勢地区 民生委員児童委員・健康づくり推進委員	地区住民、民生委員	48名
2月12日(金) 10:30-11:30	緩和ケアに関して/支援センター紹介	柏市富勢地区 健康づくり推進委員	柏市富勢地区 健康づくり推進委員 保健師	32名

②一般市民対象の健康イベントに参加しての市民啓発

一般市民対象の健康イベントに参加しての市民啓発の開催状況は下表参照。

表 18 一般市民対象の健康イベントに参加しての市民啓発の開催状況（2008年度）

日時	テーマ	主催	対象	参加人数
9月28日	がん予防キャンペーン (於：なかよし動物フェスティバル in かしわ)	柏市保健所	地域住民	約100名
11月1日	がんの知識コーナー (於：湖北台「健康まつり」)	我孫子市湖北台地区 社会福祉協議会	地域住民	約200名
12月7日	手賀沼ふれあいウォーク参加「がんになっても安心して暮らせるまちづくりをめざして」	柏市、柏市医師会、ほか	一般市民	